令和２年度　八代高等学校シラバス

教　科	数学	科　目	数学Ⅱ	学　年	２	類　型	高進文系・中進文系（６組以外）
単位数	４	教科書	改訂版　高等学校　数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	アドバンス 改訂版 数学Ⅱ＋Ｂ（啓林館） リンク数学演習Ⅰ・Ａ＋Ⅱ・Ｂ受験編（数研出版）						

学習目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。また、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。

学期	学習内容	学習の到達目標 （完全に理解すべき事項）	到達度自己評価 A　B　C
１学期	第３章 図形と方程式		
	円	与えられた条件を満たす円の方程式を求められる。	□ □ □
		円の接線の公式を理解していて，それを利用できる。	□ □ □
	軌跡と領域	与えられた条件を満たす点の軌跡領域を求められる。	□ □ □
	第４章 三角関数	弧度法で表された角の三角関数の値を求められる。	□ □ □
	三角関数	三角関数の相互関係を理解し，利用できる。	□ □ □
	加法定理	加法定理を利用して，三角関数の値を求められる。	□ □ □
		三角関数の合成を理解している。	□ □ □
２学期	第５章指数関数と対数関数		
	指数関数	指数法則を利用した計算ができる。	□ □ □
		指数方程式・不等式を解くことができる。	□ □ □
	対数関数	対数の性質に基づいた値の計算ができる。	□ □ □
		対数方程式・不等式を解くことができる。	□ □ □
	第６章 微分法と積分法		
	微分係数と導関数	導関数を利用して、接線を求められる。	□ □ □
		導関数を利用して，極値を求め，グラフがかける。	□ □ □
	関数の値の変化	不定積分・定積分の計算ができる。	□ □ □
	積分法	直線や曲線で囲まれた部分の面積が求められる。	□ □ □
３学期	数学演習①	リンク数学演習の「approach」で基本事項の復習・定着を行う。	
		9　式と証明　　10　複素数と方程式	□ □ □
		11 図形と方程式　　12 三角関数	□ □ □
		13　指数関数と対数関数　　14　微分法と積分法	□ □ □

学習方法	予習を前提とした授業を行う。予習では例や例題を参考に、練習問題に取り組むこと。復習にはアドバンス問題集を活用し、内容の定着を図ること。

評価方法	考査評価８割、平常評価２割で総合的に評価し、最終的に１００点法の評点、および５段階で評価する。平常評価は課題提出、小テスト、授業への取り組み等で行う。